6
平成25年成人式 はたちのつどい ～百花繚乱～

1_友人との再会を喜ぶ参加者　2_はかまもスーツも決まっています　3_仲間と一緒にパチリ　4_抱負を述べる佐藤さん（左）と鈴木さん　5_新成人一同は父母らへ感謝の言葉と拍手を贈りました　6_晴れやかな表情で記念撮影に臨む新成人

新成人が社会へ貢献誓う

「はたちのつどい」を開催

平成25年成人式「はたちのつどい」は１月13日、市民センター大ホールで開催されました。参加した新成人258人は、20年の歩みを振り返り、大人として新たな一歩を踏み出しました。

新成人を代表し佐藤貴幸さん（上郷町）は「成人としての自覚と責任を持ち、地域に貢献していく」と、鈴木綾さん（綾織町）は「ふるさと遠野での思い出を糧に、社会で活躍したい」とそれぞれ抱負を述べました。式典では、市内９中学校の恩師が作成したビデオメッセージを披露。新成人は恩師の祝福の言葉に感謝し、大人として社会に貢献することを誓いました。

４月からどうぞよろしく

市内11小学校交流深める

出会いを大切に！

「夢の教室冬の特別編」は１月22･23の両日、新設校が置かれる遠野中、青笹中、宮守中でそれぞれ行われました。参加した児童は、講師で元Ｊリーガーの田中誠さんと安永聡太郎さんの講義や、ボールを使ったミニゲームなどを通じ、出会いの大切さなどを学びました。市教育委員会が、４月に新設中学校に入学する市内11小学校の６年生を対象に、交流を深めてもらおうと企画。遠野小の菊池将騎君は「これからたくさんの人と出会う。積極的に声を掛け、友人をたくさん作りたい」と声を弾ませていました。

出会いや努力の大切さを伝える田中さん（左）と安永さん

オシラサマに新しい布を着せる児童ら

伝承行事で遠野語り継ぐ

伝承園で小正月行事体験

土淵地域の児童は１月15日、伝承園で小正月行事を体験しました。参加した児童15人は遠野地域に広く伝承されているオシラサマを祭る行事などを通じ、伝承行事に理解を深めました。遠野の小正月行事を子どもたちに伝えようと伝承園が毎年実施。松の葉を雪の上に植え豊作祈願する「お田植え」やオシラサマに布を着させる「オシラ遊ばせ」、鳥獣害の被害がなくなるよう唄をうたいながらモチをまく「カラスよばり」などを体験。このほか児童がそれぞれ得意とする昔話を披露するなど、遠野の冬を満喫していました。

地域活動専門員日誌

佐藤俊裕さん
（地域づくり担当）

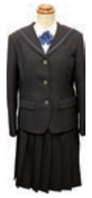
小友の魅力やイベントを発信している「おとも通信」

小友の魅力を発信中！

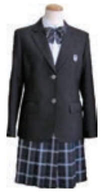
昨年８月に着任して以来、主に小友町内の各種会議や祭り、スポーツ大会に参加し、課題や魅力を調査してきました。調査結果を基に、小友の情報発信のため「おとも通信」を発行しています。イベントや旬の野菜情報などを紹介し、小友町内に人を呼び込めればと思っています。また調査の結果、買い物に不便を感じている小友の住民が２行政区で85㌫もいることが分かりました。この課題解決に向け、有効な対策を練っています。今後も課題解決や魅力発信に努めていきます。

中学校再編成ニュース

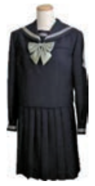
各中学校の制服が決定しました



❶遠野中



❷遠野東中



❸遠野西中

※冬用の制服です。男子はすべて詰襟

平成23年８月にアンケート調査を実施し、その結果を基にサンプルを作成しました。平成24年３月から４月には市内12会場で制服サンプルの展示会を開催。その後、市学校づくり協議会と学区部会で選考し、市教育委員会が決定しました。男子の制服は３中学校とも詰襟。女子は遠野中と遠野西中がセーラータイプ、遠野東中がブレザータイプとなりました（上の画像参照）。

なお、この新制服は、平成25年度の新入生から着用することになります。

選考された６品を紹介！

自慢のメニューを給食に

農家の女性が選考会開催

市内農家の女性で組織する遠野地方Ｙ・Ｙ・Ｙ推進女性の会（菊池ナヨ会長）は１月23日、清養園保養センターで会員が考案した学校給食メニューの選考会を開きました。参加した会員ら40人は、遠野産の野菜や遠野牛を使った料理20品を試食。味や彩り、栄養面などを審査し、子どもたちに食べさせたいと思う６品を選考しました。選考したメニューは市学校給食センターに提案する予定で、採用されれば来年度から学校給食メニューに追加されます。

カレー豆

揚げカボチャと豚こまの麺つゆ漬け

ホウレンソウのえごま和え

豆乳プリン

遠野っこパワースープ

豆とカボチャの含め煮

伝統の舞を堂々披露！

第20回 遠野郷神楽共演会

日頃の練習の成果を披露する各団体

華麗な舞で継承を誓う

水光園で神楽共演会開催

第20回遠野郷神楽共演会（遠野郷神楽保存団体推進協議会主催）は１月27日、たかむろ水光園芸能館で開催され、来場した150人は軽快な太鼓と笛の音に合わせて繰り広げられる華麗な神楽の舞を堪能しました。市内11団体120人が出演し、日頃の練習の成果を披露。舞台を清める「鶏舞」や延命長寿を祈願する「翁舞」などの多彩な演目が披露されると、会場からは大きな拍手が送られました。菊池孝二会長は「若者が新たに参加するなど、継承の輪が広がっていることをうれしく思う。神楽を通じて地域を元気にしていきたい」と力を込めました。